

第 25 期 事 業 報 告

1. 営業の概況

(1) 営業の経過及び成果

当社が設置した富山西インターチェンジは、供用開始から17年が経過し、周辺地域から高速道路へのアクセス、物流の効率化、文化・観光の振興、広域医療の推進など地域の発展に大きく寄与しているところであります。

令和2年3月31日現在、インターチェンジ周辺開発事業である金屋企業団地の分譲率は61.6%、また第1期呉羽南部企業団地では47.9%となっております。

富山市では、第2期呉羽南部企業団地を令和2年度末の完成に向けて造成しているところであります。

また、インターチェンジ建設負担金預り金につきましては、富山市からの借入金返済に充当してまいります。

なお、インターチェンジ建設負担金は、現在造成中の区画の入居企業や既存の定期借地入居企業の用地買取りにより納められる見込みです。

(2) 対処すべき課題

富山市からの借入金残額は721,731千円となっており、償還金の財源である建設負担金預り金の確保のため、富山市に対して、定期借地による入居企業に対する用地買取りの働きかけを求めてまいります。

(3) 企業団地への入居に伴うインターチェンジ建設負担金預り金の状況

	第23期まで	第24期	第25期	計
一括分譲	758,583千円	19,410千円	0千円	777,993千円
割賦分譲	17,496千円	0千円	0千円	17,496千円
借地	677,695千円	36,567千円	20,732千円	734,994千円
計	1,453,774千円	55,977千円	20,732千円	1,530,483千円